

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月7日

【四半期会計期間】 第153期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）

【会社名】 Oakキャピタル株式会社

【英訳名】 Oak Capital Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康

【本店の所在の場所】 東京都港区赤坂八丁目10番24号

【電話番号】 (03)5412-7474（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼経理財務部長 秋田 勉

【最寄りの連絡場所】 東京都港区赤坂八丁目10番24号

【電話番号】 (03)5412-7474（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼経理財務部長 秋田 勉

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第152期 第2四半期 連結累計期間	第153期 第2四半期 連結累計期間	第152期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	1,036,879	1,988,260	1,538,774
経常損益(は損失) (千円)	133,145	333,961	342,391
四半期(当期)純損益 (は損失) (千円)	142,439	291,445	485,518
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	197,714	738,624	543,959
純資産額 (千円)	1,701,391	4,047,086	1,269,779
総資産額 (千円)	2,264,822	4,615,083	1,785,348
1株当たり四半期(当期) 純損益金額(は損失) (円)	6.36	7.37	21.13
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	7.19	-
自己資本比率 (%)	74.30	87.67	70.81
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	177,378	1,857,946	13,885
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	11,851	598,395	82,267
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	4,046	360,287	110,078
現金及び現金同等物の四半 期末(期末)残高 (千円)	333,614	1,806,295	186,335

回次	第152期 第2四半期 連結会計期間	第153期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純損益金 額(は損失) (円)	7.59	0.48

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移につきましては、記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第152期第2四半期連結累計期間及び第152期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載された事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）におけるわが国経済は、企業業績が改善するとともに、政府による経済政策や日銀による金融政策に対する期待感から、高額商品を中心に個人消費が上向き等、緩やかな回復基調が見られました。

（第2四半期のインベストメントバンキング事業の投資活動内容）

当社はこのような事業環境のもと、本年度の投資方針に基づき、事業の創出や企業価値の向上を目指す企業に対し、成長支援を実施してまいりました。

当第2四半期におきましては、株式会社ソフトフロント（JQ2321）、K L a b株式会社（東証一部3656）に投資を実行いたしました。また、既存投資先に対しては、成長戦略の後押しやバリューアップの支援を行うなど、企業価値の向上に取り組んでまいりました。

当社は引き続き国内の株式市場は良好に推移すると予測し、7月に英国の投資会社と共同で新たに投資ファンド（O a k キャピタルグロースファンド）を組成し、成長力のある企業への投資を拡大する体制を整えました。

投資実行の詳細は、以下のとおりであります。

種 類	前第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	
	投資社数	金額（千円）	投資社数	金額（千円）
上場株式	1	182,633	38	2,760,129
非上場株式	1	30,000	1	20,000
その他	-	-	2	15,395
合計	2	212,633	41	2,795,525

（事業投資及び事業プロジェクト投資の活動内容）

軽井沢エフエム放送株式会社につきましては、新たな経営体制のもと、放送事業、イベント事業並びに出版事業を推進するとともに、軽井沢を拠点に新規事業の準備に着手しております。

デジタルポスト株式会社につきましては、当社投資先企業や提携先企業と共に、サービスの向上に取り組み、利用者拡大、認知度向上に努めてまいりました。

（投資回収及びキャピタルゲインの状況）

当第2四半期のインベストメントバンキング事業における売上高は17億56百万円（前年同期は6億52百万円）となりました。キャピタルゲイン（売上総利益）につきましては、7億24百万円（前年同期は1億43百万円）となりました。

なお、これらの詳細は、以下の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業投資有価証券売上高	652,806	1,756,096
投資収益(営業投資有価証券売上高)	646,818	1,236,221
その他の営業収入(配当金収入等)	5,988	519,875
営業投資有価証券売上原価	508,925	1,031,439
投資原価(営業投資有価証券売上原価)	508,925	1,031,439
キャピタルゲイン(売上総利益)	143,881	724,656

以上の結果、当第2四半期の連結業績は、売上高19億88百万円(前年同期比91.8%増)、営業利益3億40百万円(前年同期は営業損失1億28百万円)、経常利益3億33百万円(前年同期は経常損失1億33百万円)、四半期純利益2億91百万円(前年同期は四半期純損失1億42百万円)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前期末と比べ、16億19百万円増加し18億6百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において18億57百万円のキャッシュ・インフローとなりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上並びに利息及び配当金の受取によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において5億98百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。その主な要因は、貸付けによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において3億60百万円のキャッシュ・インフローとなりました。その主な要因は、新株予約権の行使による株式の発行による収入によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	86,000,000
計	86,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	46,398,620	46,398,620	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	46,398,620	46,398,620	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年7月1日 ~平成25年9月30日 (注)	4,030,000	46,398,620	142,707	3,401,555	142,707	2,076,594

(注)第7回新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

	氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
1	エルエムアイ株式会社	東京都港区南青山六丁目8番6号	7,598	16.38
2	山崎 光博	東京都板橋区	2,184	4.71
3	日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番10号	1,731	3.73
4	株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6番1号	1,153	2.49
5	マネックス証券株式会社	東京都千代田区麹町二丁目4番1号	1,139	2.46
6	エスアイエツクス エスアイエス エルティーマーデー (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行決済事業部)	BASLERSTRASSE 100, CH-4600 OLTEN SWITZERLAND (東京都千代田区丸の内二丁目7番1号)	902	1.94
7	竹井 博康	神奈川県藤沢市	725	1.56
8	白石 和弘	東京都品川区	460	0.99
9	楽天証券株式会社	東京都品川区東品川四丁目12番3号	412	0.89
10	大川 徹	東京都港区	383	0.83
	計		16,691	35.98

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 23,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 46,098,700	460,987	-
単元未満株式	普通株式 276,520	-	-
発行済株式総数	46,398,620	-	-
総株主の議決権	-	460,987	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が4,200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数42個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
Oakキャピタル株式会社	東京都港区赤坂八丁目10番24号	23,400	-	23,400	0.05
計	-	23,400	-	23,400	0.05

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	190,835	1,807,867
受取手形及び売掛金	94,846	111,272
有価証券	-	2,927
営業投資有価証券	731,585	1,360,117
商品及び製品	157,351	173,900
短期貸付金	85,000	683,000
1年内回収予定の長期貸付金	833	3,333
1年内処分予定の不動産	313,545	313,545
その他	30,952	31,431
貸倒引当金	140	-
流動資産合計	1,604,809	4,487,396
固定資産		
有形固定資産	47,427	43,745
無形固定資産	2,887	3,269
投資その他の資産		
投資有価証券	210,368	211,018
その他	55,522	53,110
貸倒引当金	159,230	200,000
投資その他の資産合計	106,660	64,129
固定資産合計	156,975	111,144
繰延資産	23,563	16,542
資産合計	1,785,348	4,615,083

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,995	35,573
短期借入金	276,500	270,000
1年内返済予定の長期借入金	7,104	6,544
その他	128,528	143,448
流動負債合計	443,127	455,566
固定負債		
長期借入金	2,992	-
退職給付引当金	51,876	95,406
引当金	3,245	3,245
その他	14,327	13,778
固定負債合計	72,441	112,430
負債合計	515,569	567,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,212,813	3,401,555
資本剰余金	1,711,847	3,566,310
利益剰余金	3,325,107	3,033,661
自己株式	9,910	10,048
株主資本合計	1,589,643	3,924,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325,424	121,754
その他の包括利益累計額合計	325,424	121,754
新株予約権	5,560	1,176
純資産合計	1,269,779	4,047,086
負債純資産合計	1,785,348	4,615,083

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,036,879	1,988,260
売上原価	690,420	1,172,945
売上総利益	346,458	815,314
販売費及び一般管理費	474,899	474,755
営業利益又は営業損失()	128,440	340,559
営業外収益		
受取利息	2,211	8,065
受取配当金	1,234	609
為替差益	407	-
業務受託手数料	3,912	1,213
その他	1,293	498
営業外収益合計	9,059	10,385
営業外費用		
支払利息	4,762	6,617
社債発行費等償却	8,185	8,151
為替差損	-	1,150
その他	815	1,064
営業外費用合計	13,764	16,983
経常利益又は経常損失()	133,145	333,961
特別損失		
固定資産売却損	-	526
固定資産除却損	1,493	8
貸倒引当金繰入額	-	40,628
減損損失	-	453
特別損失合計	1,493	41,616
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	134,638	292,344
法人税、住民税及び事業税	5,589	960
法人税等調整額	494	60
法人税等合計	5,094	899
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	139,732	291,445
少数株主利益	2,706	-
四半期純利益又は四半期純損失()	142,439	291,445

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	139,732	291,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,981	447,178
その他の包括利益合計	57,981	447,178
四半期包括利益	197,714	738,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,421	738,624
少数株主に係る四半期包括利益	2,706	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	134,638	292,344
減価償却費	4,045	2,706
減損損失	-	453
のれん償却額	317	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,158	40,628
賞与引当金の増減額(は減少)	600	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,355	43,530
受取利息及び受取配当金	3,446	8,815
支払利息	4,762	6,617
有形固定資産売却損益(は益)	-	526
有形固定資産除却損	2	8
無形固定資産除却損	1,490	-
売上債権の増減額(は増加)	12,181	18,642
たな卸資産の増減額(は増加)	1,828	16,549
仕入債務の増減額(は減少)	2,164	4,962
営業投資有価証券の増減額(は増加)	292,319	115,188
未収消費税等の増減額(は増加)	1,945	16
未払消費税等の増減額(は減少)	3,231	2,274
その他の資産の増減額(は増加)	28,767	3,944
その他の負債の増減額(は減少)	24,108	46,285
その他	8,821	8,767
小計	183,178	196,720
利息及び配当金の受取額	2,862	1,670,722
利息の支払額	4,741	7,018
法人税等の支払額	3,920	2,477
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,378	1,857,946
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	704
有形固定資産の売却による収入	-	950
無形固定資産の取得による支出	1,884	640
貸付けによる支出	10,000	900,000
貸付金の回収による収入	-	302,000
差入保証金の回収による収入	32	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,851	598,395
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	7,000	6,500
長期借入金の返済による支出	3,552	3,552
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,196	371,279
自己株式の取得による支出	14	267
自己株式の売却による収入	-	39
ファイナンス・リース債務の返済による支出	676	711
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,046	360,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	121
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	161,494	1,619,960
現金及び現金同等物の期首残高	172,119	186,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	333,614	1,806,295

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形割引高	30,479千円	16,587千円
受取手形裏書譲渡高	5,532	2,500

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給与・賞与	168,823千円	148,787千円
賞与引当金繰入額	600	-
退職給付引当金繰入額	4,149	43,530

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	340,114千円	1,807,867千円
有価証券勘定	-	2,927
預入期間が3か月を超える定期預金	6,500	4,500
現金及び現金同等物	333,614	1,806,295

(株主資本等関係)

株主資本の金額の著しい変動

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,212,813	1,711,847	3,325,107	9,910	1,589,643
当第2四半期連結累計期間 中の変動額					
新株の発行(新株予約権 の行使)(注)1	188,741	188,741			377,483
株式交換による増加 (注)2		1,665,811			1,665,811
四半期純利益			291,445		291,445
自己株式の取得				267	267
自己株式の処分		89		128	39
当第2四半期連結累計期間 中の変動額合計	188,741	1,854,463	291,445	138	2,334,512
当第2四半期連結会計期間 末残高	3,401,555	3,566,310	3,033,661	10,048	3,924,155

(注)1.第7回新株予約権の行使によるものであります。

2.平成25年5月13日を効力発生日として実施した当社を株式交換完全親会社、株式会社ナノ・メディアを株式交換完全子会社とする株式交換を行ったことによるものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インベ スト メント バン キング 事業	アド バイザ リー 事業	産 業 資 材 事 業	リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト 事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	652,806	9,816	300,674	73,580	1,036,879	-	1,036,879	-	1,036,879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	145	-	145	-	145	145	-
計	652,806	9,816	300,819	73,580	1,037,024	-	1,037,024	145	1,036,879
セグメント利益又は 損失()	117,104	21,068	1,905	12,060	128,017	448	128,466	25	128,440

(注)1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2.セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	インベストメント バンキング事業	アドバイザー 事業	産業資材事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,756,096	5,283	226,880	1,988,260	-	1,988,260
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	72	72	72	-
計	1,756,096	5,283	226,952	1,988,332	72	1,988,260
セグメント利益又は損失()	387,363	22,536	26,158	338,669	1,890	340,559

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメント等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントから「リスクマネジメント事業」を除外しております。これは、平成25年2月に同事業を営むピーエスエル・インシュアランス㈱の保有株式の一部を売却したことにより、同社を連結の範囲から除外したことによるものであります。

(有価証券関係)

その他有価証券が、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

その他有価証券

前連結会計年度末（平成25年3月31日）

	取得原価（千円）	連結貸借対照表計上額 （千円）	差額（千円）
(1) 株式	755,070	430,254	324,816
(2) 債券	-	-	-
(3) その他	-	-	-
合計	755,070	430,254	324,816

(注) 非上場株式等（連結貸借対照表計上額511,700千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当第2四半期連結会計期間末（平成25年9月30日）

	取得原価（千円）	四半期連結貸借対照表 計上額（千円）	差額（千円）
(1) 株式	821,012	1,010,189	189,176
(2) 債券	-	-	-
(3) その他	2,927	2,927	-
合計	823,940	1,013,117	189,176

(注) 非上場株式等（四半期連結貸借対照表計上額560,946千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	6円36銭	7円37銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	142,439	291,445
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	142,439	291,445
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,379	39,527
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	7円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	-	1,032
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日

Oakキャピタル株式会社

取締役会 御中

監査法人日本橋事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 渡邊 均 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木下 雅彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているOakキャピタル株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、Oakキャピタル株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。